

水産物の市況について(令和2年6月及び令和2年7月)

—東京都中央卸売市場における令和2年6月(令和2年5月21日～令和2年6月20日集計)の市況と、
令和2年7月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和2年6月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、前月並であったものの前年同月より15%減とかなり減少し、卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、前月より6%高とやや強含んだものの、前年同月に比べ11%安と弱含みに推移しました。

II 令和2年7月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

入荷量は、横ばいと見込まれ、卸売価格は、横ばいと見込まれます。

「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量は、銀ざけを主体に横ばいと見込まれ、卸売価格は、横ばいと見込まれます。

「さば(生鮮品)」

入荷量は、横ばいと見込まれ、卸売価格は、横ばいと見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

北陸で豊漁が続き、入荷量がかかなり多いことから横ばいと見込まれ、卸売価格は、入荷量が多いことや小型サイズが多いことから、やや弱含みと見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

入荷量は、水揚げが低調なことから少なく横ばいと見込まれ、卸売価格は、やや強含みと見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

入荷量は、全体ではかなり増加し前年同月並であったものの、平年よりかなり減少していることから、横ばいと見込まれ、卸売価格は、平年より1割安いものの、外食需要が徐々に戻りつつあることから、脂系主体にやや強含みと見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

入荷量は、平年の半分と少なかったものの、今後、やや増加すると見込まれ、卸売価格は、やや弱含みと見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	6月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
2年	28	952	28	898	27	920
前年	33	1,073	30	1,075	36	1,088

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	6月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	257	101	82	74
さけ・ます(平均)	778	98	73	83
(ぎんざけ塩蔵品)	785	98	74	83
(あきさけ塩蔵品)	419	98	55	61
(ときさけ塩蔵品)	1,267	98	87	109
(べにざけ塩蔵品)	1,209	98	89	107
(さけ類冷凍品)	744	98	74	83
さば(生鮮品)	314	100	75	86
するめいか(平均)	487	59	71	79
(生鮮品)	472	58	73	78
(冷凍品)	967	100	111	149
あじ(生鮮品)	542	110	89	98
まぐろ(冷凍品)	1,352	109	86	90
(めばち冷凍品)	881	99	77	81
(きはだ冷凍品)	870	93	69	82
(くろまぐろ冷凍品)	2,872	95	112	106
(みなみまぐろ冷凍品)	2,029	115	101	96
かつお(生鮮品)	668	86	120	121

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:6月の価格は1～20日までの速報値を元に算出。平年とは平成27年～令和元年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6617 佐藤、小山、山口

直通 03-3591-5612